令和４年度

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

学校法人諏訪学園

山形医療技術専門学校

学校法人諏訪学園山形医療技術専門学校の学校評価委員会は、令和 4 年度自己評価に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、その結果を以下のとおり公表いたします。

１　学校関係者評価について

専修学校における学校評価は、平成 19 年の学校教育法及び同施行規則の改正により、学校関係者評価の実施・結果の公表に関する努力義務が課されています。また、職業実践専門課程に認定されている課程においては、学校関係者評価を必ず実施することとなっています。本校では、「専修学校における学校評価ガイドライン」(文科省：平成 25 年 3 月)に基づき、**学校評価・学校関係者評価実施規程**を定め学校関係者評価を行なっています。

２　学校関係者評価の目的

関連業界、職能団体等関係者、卒業生、教育に知見を有する者などの学校関係者が、山形医療技術専門学校の学校評価結果を評価することで学校評価の客観性、透明性を高めるとともに、学校関係者から学校運営、教育活動の現状における課題について意見、要望を受け継続的な改善をはかること並びに特色ある学校づくりを目的としています。

３　学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価をおこなうにあたり、本校の「自己評価報告書」を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」(文科省：平成 25 年 3 月)に則り実施することを基本方針とします。

４　学校関係者評価委員会委員

区分	氏名	役職/所属等	外部委員選任根拠	外部委員任期
委員長	岩田正巳	校長	－	
委員	磯部佳宏	総務部長	－	
委員	武田貴好	教務課長	－	
委員	舩山貴子	理学療法学科長	－	
委員	鈴木竜平	作業療法学科長	－	
委員	田中基隆	理学療法学科長補佐	－	
外部委員	菊地和博	東北文教大学 特任教授	教育に知見を有する者	令和 4 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
外部委員	飯塚哲	サンワ機器 代表取締役	地域住民 会社経営者	令和 4 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
外部委員	高橋怜児	至誠堂総合病院 理学療法士	関係業界 卒業生	令和 4 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
外部委員	柏倉昭之	篠田総合病院 作業療法士	関係業界 卒業生	令和 5 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

５　学校関係者評価委員会実施日時

実施日時　令和５年５月 30 日（火）　15：00～16：30
場　　所　山形医療技術専門学校　会議室

６　学校関係者評価方法

「令和 4 年度自己評価報告書」に基づき、基準項目の結果と今後の改善方策について以下のポイントに留意しながら評価をおこないました。

（１）自己評価結果の内容が適切かどうか
（２）今後の改善方策は適切かどうか
（３）学校の運営改善に向けた取組が適切かどうか
（４）その他、学校運営に関する意見、要望等

７　学校関係者評価結果

評価については、◎適切である、○ほぼ適切である、△やや不適切である、×不適切である再検討が必要、の４段階の評価をおこなっている。

基準並びに項目に対する学校関係者の評価は、以下のとおりです。

基準並びに項目	評価(１)	評価(２)	評価(３)
基準１　教育理念・目的・人材育成像	◎	◎	○
基準２　学校運営	◎	◎	◎
基準３　教育活動	◎	○	◎
基準４　学修成果	◎	○	○
基準５　学生支援	◎	○	○
基準６　教育環境	◎	◎	◎
基準７　学生の受入れ募集	○	◎	○
基準８　財務	◎	◎	◎
基準９　法令等の遵守	◎	◎	◎
基準 10 社会貢献・地域貢献	○	◎	○

関係者評価委員会からの意見要望(委員会質疑応答)

教育活動

新型コロナウイルス感染症の影響により実習指導者会議がオンライン開催となり、実際に学生と会う機会が無くなってしまった事による弊害などは無かったのか伺いたい。

対面形式での開催が難しくとも、実習施設の指導者と実習前にオンラインで学生と面談していただくことにより、実習に対する不安が軽減し実習への導入がスムーズになったという意見が多く聞かれた。また、学校として実習指導者との連携をより密に行うことで、実習がスムーズに遂行できた。

学修成果

4年連続での両学科揃っての国家試験合格率100%は、大変素晴らしい結果であると思われる。一方で留年・退学者が多かったようであるが、その原因と具体的な対策を伺いたい。

退学の原因は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりモチベーションが低下したこと等を理由とする者が一定数いた。またメンタルの問題で退学者した者も数名いた。そのため、個別面談をまめに実施して個々の学生の状況把握に努め、問題が大きくなる前に対応していくよう引き続き取り組んでいる。

卒業後のキャリア形成への教育活動の一環として、保育士免許取得を目指せる講座を開講しているとのことであるが、実際の状況はいかがであるか伺いたい。

令和 3 年度から、卒後のキャリア形成の一環として外部から講師を招き保育士免許取得を目指せる講座を開講している。各科 2 年生を対象として開催しているが、参加者は約 50 名程度であり、特に作業療法学科学生の参加者が多い。実際に保育士免許を取得しなくとも、小児領域のリハビリテーション施設へ就職を考えている学生にとっては有意義な講座となっているため一生懸命取り組んでいる。

学生支援

学生の就職率は今年度も 100%を達成できたということであるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響などは無かったか伺いたい。

昨年度も就職ガイダンスを開催することはできなかったが、オンラインによる対応等を行っている施設も多く大きな問題は見られなかった。求人数は例年並みであり求人情報を適切に開示した結果、卒業生は概ね希望する施設に就職できた。

病院・クリニックへ就職した者の割合が高かった様であるが、学校として介護保険分野への就職の働きかけは何かしているのか。

昨年度に関しては、県内の介護保険領域の求人が少なかったことからの結果である。新カリキュラムから追加となった地域実習等を通して、介護保険分野への理解を深め興味を持ってもらえれば希望者も増えていくと考えている。

学生寮が完成したとのことであるが、現在の利用状況を伺いたい。

県外からの入学生および、遠方からの通学生に対して広く周知した結果、令和 5 年度の新規入居予定者は定数通りの見込みである。

教育環境

新型コロナウイルス感染症拡大による臨床実習への影響について伺いたい。

臨床実習については、両学科とも円滑に実施できる体制をとっているが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で承認を得ている施設のみで実施することが出来ず、急きょ実習施設を確保し実施した。また、一部の実習において感染状況により実習中止や日程変更を行ったため、学生に不利益が生じないように実習の一部を学内演習に切り替え手厚くフォローした。

学生の受け入れ募集

学生募集活動において何か特別に実施された事などがあれば伺いたい。

高校生の情報収集がスマートフォンによることから、スマートフォン対応のホームページとし SNS を利用した情報発信等に注力した。また、漠然と医療系を志望している 1・2 年生を対象とした進学ガイダンスやオープンキャンパスを開催し、理学療法士と作業療法士の理解を深め興味を持ってもらえるような取り組みを行った。